

Webアプリケーションとしてのポスター共有閲覧システム

角 海音 吉田光男 梅村恭司
豊橋技術科学大学

聴講者・発表者両者のスムーズな意思伝達環境を有するWebアプリケーションを開発した。開発したWebアプリケーション「OnePage」は、次の3つの機能を有している。

A:マウスによる
「範囲指定」

B:指定した範囲の
「拡大・縮小」

C:「好きに見る」
の選択

発表者が注目してほしい箇所を伝えながら、聴講者は示された箇所を見るか、別の箇所を見るか自由に選択することができる。

背景

- ・ ポスター発表の利点はインタラクティブなコミュニケーションである(Ilic and Rowe(2013))。
- ・ 現在のオンライン学会では、オンライン会議システムに含まれる画面共有を用いることが多い。
- ・ オフラインと比べて、聴講者側の裁量権が損なわれている。

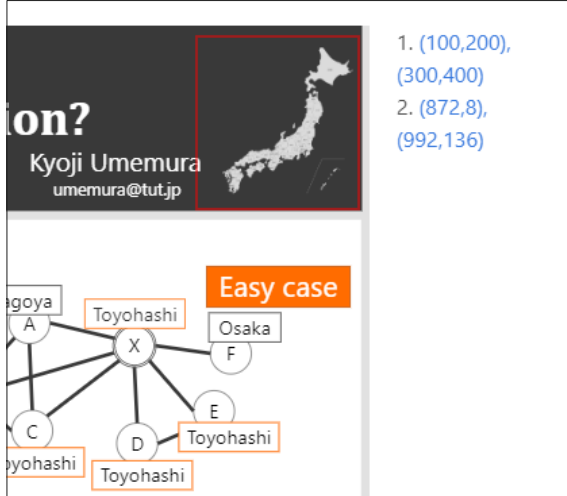
聴講者の裁量権・好きな場所を好きな時にみる権利を担保し、かつ、発表者のスムーズな意思伝達をサポートするオンラインのポスターシステムを提案する。

OnePage

オンラインポスター発表の補助アプリケーションとして、ブラウザベースのPDFビューアを開発した。ユーザには3つの機能を提供する。

A:ドラッグによる任意範囲の指定

閲覧者全員の画面で同じ範囲が選択される。



C:「好きに見る」の選択

他の閲覧者の画面を拡大させたまま自分だけ縮小画面に移行することができる。



ボックスにチェックを付けている間、常時「好きに見る」モードとなる。

チェックの状態は全閲覧者の画面で共有される。閲覧者の誰かがチェックを外すと、全員縮小画面に移行する。



まとめ

OnePageによって、発表者は注目してほしい箇所を伝えることができ、聴講者はその示された箇所を見るか、あるいは他の箇所を見るかを聴講者自身が選択することができる。

参考文献

Ilic, D. and Rowe, N. (2013) "What is the evidence that poster presentations are effective in promoting knowledge transfer? A state of the art review," Health Information & Libraries Journal, Vol. 30, No.1, pp. 4–12.